

第2次江田島市総合計画審議会（第8回）議事録

開催日時	平成26年11月19日（水）午後2時00分～4時00分
開催場所	江田島市役所 本庁 2階会議室
出席者	<p>■審議会委員（敬称略 関係団体の役職員については就任時の状況）</p> <p>木村 洋 広島県地域力創造課 課長 樋上 美由紀 江田島市教育委員会 委員（審議会副会長） 小方 憲三 江田島市自治会連合会 会長 藤田 里子 江田島市女性会連合会 副会長 前田 政子 江田島市老人クラブ連合会 副会長 富田 美保 江田島市PTA連合会 母親代表 大石 君枝 江田島市社会福祉協議会 理事 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長 中谷 隆 県立広島大学 教授（審議会会長）</p> <p>■江田島市</p> <p>正井 嘉明 副市長 山本 修司 企画部 部長</p> <p>【事務局：企画部企画振興課】</p> <p>畑河内 真 企画振興課 課長 道本 浩二 企画振興課 主任</p> <p>【事務局：株式会社地域計画工房】</p> <p>山下 和也 増村 嘉大</p>
欠席者	<p>■審議会委員（敬称略 関係団体の役職員については就任時の状況）</p> <p>青木 博美 安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長 村上 浩司 江田島市農業委員会 委員 久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 会長 宇根川 昭男 江田島市商工会 副会長 フンク カロリン 広島大学 准教授</p>
傍聴者	1人
会議次第 及び資料	<p>会議次第</p> <p>1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 （1）第2次江田島市総合計画素案について【資料1-1, 1-2】 （2）パブリックコメントについて【資料2】 4 その他 5 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1-1：第2次江田島市総合計画素案の要点について 資料1-2：第2次江田島市総合計画素案 資料2：パブリックコメントについて 参考資料：絵画コンクールについて</p>

会 議 記 録	
事務局	<p>1 開会</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりくださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議を開催するに先立ち事務局からお知らせします。 本日の会議資料について、ご確認くださいませようお願いいたします。 資料は、次第、委員名簿、資料1-1から資料2までございます。また、参考資料としまして、絵画コンクールについて、第7回審議会の議事録、本日欠席されております委員からの意見書を付けております。もし、ないようでしたら事務局にお申し付けください。</p> <p>本日の会議も、これまでの会議と同様に議事録を作成いたしますので、録音をさせていただいております。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより第2次江田島市総合計画審議会の第8回を開催いたします。 審議会は次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>それでは、会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。 今回は欠席者が多いものの、資料は事前に見ていただいているかと思えます。 第8回という事で、本審議会も残り少なくなってきましたので、出来るだけ短い時間で凝縮した議論をしたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議には14名中、出席者は9名、欠席者は5名となっています。よって、江田島市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により委員の2分の1以上の出席がありますので、会議成立の定数に達していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、欠席者は安芸地区医師会江田島ブロック 青木委員、江田島市農業委員会 村上委員、江田島市漁業振興協議会 久保河内委員、江田島市商工会 宇根川委員、学識経験者 広島大学 フンク委員の5名です。</p> <p>それでは審議会条例第7条第3項に会長は会議の議長となるとありますので、ここからの進行は会長に申し上げます。</p>
会長	<p>3 協議事項</p> <p>すでに皆さんには資料配付し、目を通していただいているということで、ポイントを絞って皆さんの意見を頂きたいと思えます。 早速、次第にありますように、3（1）で第2次江田島市総合計画素案について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（1）平成26年度市民満足度調査について【資料1-1, 1-2】</p> <p>それでは第2次江田島市総合計画素案について、ご説明いたします。 資料1-1、資料1-2を用いて説明いたしますので、ご覧ください。（「第2次江田島市総合計画素案について」説明） ※内容は資料1-1, 1-2のとおり</p> <p>今後の流れについて、併せて説明いたします。本審議会終了後、パブリックコメントを行う予定としています。その間に、本市の来年度予算要求に併せて文章表現の書き方などの確認作業、修正を経て、年明けに審議会に諮りたいと考えています。 以上、説明を終わります。</p>

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 パブリックコメントについては、次の議題で意見等を伺いたいと思います。 今回、特に我々が議論すべきところは資料1-2の37頁から92頁までの第2編基本計画を検討していかなければなりません。 目次を見ていただくと、第2編は第1部と第2部で大きく2つに分けられており、第1部はさらに7つの章、第2部は2つの章となっています。 資料1-1で概略を説明していただきましたが、資料1-2にはより具体的な取り組み案が出ておりますので、これで良いのかということもご検討いただければと思います。 基本計画の市民満足度の高いまちづくりは、どちらかという市の行政施策に絡んでおり、それぞれの部署が行う仕事ではないかと思えます。もう少しこういう事が市では出来ないかという意見を出していただき、事務局が持ち帰り各担当部署と検討するという流れになるかと思えます。 未来を切り開くまちづくりは、部署を横断する施策、事業となるかと思えます。審議会でも色々なご意見や議論があったのは、観光を中心とした内容であったかと思えます。まずは市民満足度の高いまちづくりに関して、市に付け加えて欲しい意見等をお伺いできればと思います。</p> <p>まず、教育・文化部門についてです。 従来やってきた事業を、さらに展開していくと言うことになるかと思えます。 何か意見等ないでしょうか。 特に意見がないようですので、本日欠席された委員からの意見を紹介させていただきたいと思えます。 41頁 生涯学習の充実の伝統文化について、施策には、伝統文化の保護と活用を、島外の人との交流を深めるために利用するような取り組みを入れたほうが良いと思えます。島内から保護などに関わる各団体の会員が増えないので、積極的に島外の人が加わるような制度を作るとよいと思えます。＜伝統文化保護に島外の人が加わる制度の検討＞ 42頁 スポーツの振興について、島内向けスポーツと、サイクリングやマリンスポーツのような島外向けスポーツに別れているようにとらえる。島内にも、サイクリングやマリンスポーツを普及させて、将来のインストラクターを育成する方向を示したほうが良いと思えます。＜市民へのサイクリングやマリンスポーツの普及促進＞ 以上が、教育・文化部門への欠席委員からの意見となっています。</p> <p>伝統文化は江田島市民の問題だけではなく、市外の人たちとも交流を深めるために利用するような形にしてはどうかという意見です。 市外の人が加わるような制度を作るべきではないかと言うことです。</p>
<p>事務局</p>	<p>担当部署と相談させていただき、生涯学習の充実に島外の人が加わることに、具体的にどういった方法があるのかということも含めて、検討したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>伝統文化というのは、市民のための伝統文化と言うこともありますが、観光と絡んでくる部分もありますので、横断的なところでの検討になるのではないかと思います。1つの部署に丸投げしてしまうのは実現性が低いのではないかと思いますので、行事があるときには観光と絡めながら、外から人を呼び込むことを実現していただきたいと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>本年度、広島県では「しまのわ」という交流イベントを半年間に掛けて行いましたが、江田島市における民間イベントで「ぐるぐる海友舎プロジェクト」という旧海軍兵学校の旧下士卒集会所という趣のある建物を活用し、後世に残していくため、市民グループが建物を守りながら人々の交流施設として利用するという取り組みを行っています。 この趣のある建物はいいねと言うことで、江田島市民だけの取り組みだけではなく、国際大学の先生や建築物に造詣の深い知識人なども加わりながら、建物を守っていく取り組みと、交流の拠点として他の活動グループとの交流イベントなども「しまのわ」を契機として実現できています。</p>

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

事務局	<p>こういったことも、先程のコメントには示唆されていたのかと思いますので、文章の書きぶりなどの中に盛り込んで行ければと思っています。</p>
会長	<p>先ほどから申していますが、部署は横の繋がりを元に、複数の課が1つのプロジェクトに関わっていくと広がりが出てくるのではないかと思います。</p> <p>次の意見ではスポーツの振興について、インストラクターの関連となっています。サイクリングやマリンスポーツを島内にも普及させ、将来的にはインストラクターを育成しようと言うことかと思っています。</p> <p>市民に限らず、市外の人がインストラクターとして関わることもあると思うので、市民に限らなくても良いのではないかと、個人的には思います。</p> <p>各地の観光地ではインストラクターが必ず居ますが、だいたい副業でやられており、スポーツに興味のある人に住み着いて貰い、その人たちに副業的な形でインストラクターをやって貰うということもあると思うので、検討が必要になるかと思っています。</p>
事務局	<p>事例を紹介させていただきますと、江田島市では空き家バンクに取り組んでいますが、広島市消防局に勤めておられる方が、江田島の海を気に入られ移住されています。</p> <p>マリンスポーツが趣味で海の遊びを楽しんでいる中で、海から受けた恩恵を子どもたちに返して行きたいということで、シーサポートというNPO法人を立ち上げ、子どもたちが海遊びをする場合にはその団体が子どもたちの安全を守るという活動をされています。</p> <p>江田島市では民泊の修学旅行受け入れに取り組んでいますが、体験教室の1つで江田島カヌークラブを行っており、これも移住者の方が中心となって作られたクラブです。</p> <p>カヌークラブが島外からの子供にカヌー指導をする場合には、シーサポートが協力して子どもたちの安全を守るという形になっています。</p> <p>こういう形で、マリンスポーツと活動団体と体験型学習が1つのセットになって江田島市の事業が展開しているため、今後の新たな可能性として広げていきたいと感じています。</p>
会長	<p>そういった取り組みについても、計画に入れていただき、すでにやっているのであれば、市がサポートしていくという関わり方を更に作って行ければ良いのではないかと思います。</p> <p>市が率先する必要性は大きくなく、サポートが重要かと思っています。</p>
委員	<p>スポーツのインストラクター養成もしています。</p>
会長	<p>インストラクターという言葉として、計画に入れても良いのではないかと思います。</p> <p>そうすることで、計画書を読む人がイメージを持ちやすくなるかと思っています。</p> <p>続いて産業・観光部門はいかがでしょうか。</p> <p>欠席委員からのご意見があります。</p> <p>50頁 商工業の振興について、前にも触れたかと思いますが、観光振興の一番の取り組みとして観光ボランティアを推進しないほうが良いと思います。観光は産業にならないといけないが、ボランティアとなると、産業化の機会が減ります。また、ボランティアの場合、観光客のニーズに答えない場合があります。ボランティアを上げるなら、順番を最後にしたほうが良いと思います。＜観光系ボランティアを推進するか否かの検討＞観光案内板の整備ですが、景観との調整が必要です。また、今はGPSを利用するサイクリストも多いので、アプリの開発なども考えられます。看板は設置コスト、維持の問題があります。＜サイクリスト用のアプリの開発＞</p> <p>以上が、産業・観光部門への欠席委員からの意見となっています。</p> <p>意欲があって責任のある人が関わるということには危ういという事もあるかと思っています。</p>
委員	<p>確認したいのですが、観光ボランティアの範囲がどうなのでしょう。</p> <p>委員の意見だと範囲は広いように感じますが、個人的には観光ボランティアガイドというイメージでいます。</p>

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

会長	観光ボランティアの役割というのが明確ではないので、ボランティアの養成となると様々な事をするようにも感じられるかも知れません。
事務局	<p>確認は必要ですが、担当部署による書き込みを見る限りでは、実際に観光ボランティアガイドという事業を行っていますので、その事業を充実させるという思いではないかと思えます。</p> <p>委員の意見では、江田島市が将来的に観光を1つの産業としてやっていくのであれば、観光ボランティアガイドから1ランク上がった所の産業として成り立つことを視野に入れて行くべきだということを示唆して頂いていると感じています。</p> <p>10年の計画として、産業化が出来るようになるまで視野に入れた取り組みにしなければ、長続きしないのではないかと意見をいただいたものと思えます。</p>
会長	<p>10年間の計画にどのあたりまでの人材養成を盛り込むのかについて、明確にして貰いたいという審議会からの付帯意見として、担当部署に伝えていただければと思います。</p> <p>観光案内板に関して、アプリ開発というご意見ですが、すでにやっているということはないですか。試みとしてどこの地域もやっている段階かと思えます。</p> <p>創業支援などに関わっており、こういったアプリ開発などに食いついてくる業者は結構あると感じています。商売になると考えているらしく、試行錯誤でやっている段階ですが、形になってくると一気に広がるのではないかと思えます。</p> <p>今後10年間では必ず出てくると思うので、それに対応する心構えはしておく必要があると思えます。</p>
委員	町の中で、情報を得ることが出来るのでしょうか。
会長	表示板などから情報や動画を得ることが出来るという形もあると思えます。
事務局	例えばサイクリストの方が、案内板にスマートフォンをかざすことで景色ポイントや、観光地などの情報や動画を見て取れるようなアプリが開発されているようなので、示唆に富む意見を頂いたので、担当部署に伝えさせていただきたいと思えます。
委員	<p>サイクリストなどでよく見かけるのが、地図を見ながら迷っている方がいます。住民が声を掛けるという方法もありますが、アプリ等は施設の中でしか活用できないというイメージだったので、案内等が活用出来るアプリがあればと思いました。</p> <p>観光地で見たことがあるのですが、江田島であれば第1術科学校の昔の風景写真などがでてくるというような事があれば良いなと思えます。</p>
会長	今の若者は、スマートフォンで交通網や時刻表などの情報も得ていくという状況ですので、そういったことも含めて整備ができればと感じます。
委員	<p>観光客の方々と話していると、やはり物販店、特にカキが買いたいはどこに行けば良いのかとよく言われるという事です。市民はカキ屋に行けば買えるとわかっていますが、観光客はわからないのでゆめタウンで買って帰ったという話も聞いたことがあります。出来れば島の中に小さなお店ではなく、江田島の物が何でも手に入るというような施設を作らないとダメだろうという話題になりました。</p> <p>また、市外の方で江田島に住みたいと言うことで空き家を案内して貰ったが、家の中に仏壇があったりする状況で、そこに住もうかという気になれずやめたという方もおられるようです。</p> <p>借りて貰ってからきれいにするつもりかもしれませんが、貸そうとする気持ちが感じられないと移住をやめられる方も出てくるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>空き家バンク制度を始めてから、これまでに160～170軒登録をしていただいて、95件前後の商談がまとまり200人程度が移住していただいています。</p> <p>一番の悩みとしては、空き家バンクの物件が少なくなっていることで、自治会等の会議の折りに空き家バンクへの登録のお願いをしていますが、現状で30軒に満たない状況です。良い物件が登録されると、すぐに全国から問い合わせがあり、昨日などは横浜の方から1軒を見るためだけに来訪されるといったこともあります。</p>

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

事務局	<p>特に週明けなどは、担当課に連絡が多く入ってくる状況です。</p> <p>空き家は多く見られますが、登録に至っていない物件が多いので、市としては空き家バンクに是非登録して欲しいという風に思っています。</p> <p>移住される方は、定年退職される方ばかりではなく、6割程度は現役世代、子育て世代の方が江田島市の豊かな自然を気に入り、そういった環境の中で子育てや労働をしたいという思いを持って移住されていることから、今後の江田島市にとって大事な事業になると考えています。</p> <p>また、新年度事業から、空き家バンクへの登録活動に協力していただいた団体等に、なんらかの補助金や支援をするような制度を検討しているところであり、各種団体に空き家バンク制度により移住者を増やすという活動に、より参画して頂ければと思っています。</p>
藤田委員	<p>空き家の改修費等のお金は個人が出すのでしょうか。</p>
事務局	<p>成約となり、住まれる方が住居を改修する場合には、30万円を上限とした補助制度もあります。</p>
会長	<p>そういった情報についてもパンフレットとしてまとめておいて頂き、広報をより積極的にやっていただくことが必要かと思えます。</p>
事務局	<p>関連した制度としては、物件を見ていきなり移住というのは現実的ではないため、おためし暮らし制度を活用して1週間程度、おためし暮らし用の家に住んでいただけるような形になっています。</p> <p>空き家バンクで物件を揃え、おためし暮らしで島の生活が気に入ったら、空き家バンクの物件の中から購入していただき、その後改修費補助という形で、入口から出口までの制度を揃えており、今後も拡充できればと思っています。</p>
会長	<p>問い合わせの件数などもデータとして示すことで、市民の意識も少し変わってくるのではないかと思います。</p>
委員	<p>空き家バンクについては、5年位前から自治会でも各自治単位で探していますが、持ち主の了解が必要になります。</p> <p>一人暮らしの高齢者が亡くなるなどした場合でも、市外に出ている子供がお盆や正月の時期だけ帰省するなど、仏壇が残されていることがあります。</p> <p>そういった事もあり、空き家は多くあるものの登録に繋がっていない状況となっています。仮に空き家バンクに登録しても、仏壇がそのまま残るなどで、成約しにくい状況もみられます。</p>
事務局	<p>移住される方は、様々な思いを持って入られており、古い物件を自分で直しながら住みたいという方もいますし、昭和初期の納屋の付いているような古民家を望まれる場合もあります。仏壇についてもネックになることもありますが、年に数回帰省させて貰うという条件付きの賃貸物件についても、成約しています。</p> <p>自分たちでは需要がないだろうという古い物件、条件付きの物件でも、照会の電話があるので、あまり自分たちのこれはダメだろうという固定概念にとらわれずに登録していただき、物件を揃えられればと思っています。</p>
会長	<p>空き家に関しては基本計画にも盛り込まれていますが、より内容を充実して頂ければと思います。</p>
副会長	<p>景観で山に登ることが1つの売りだと思うのですが、陀峯山はアクセス道が雑木や雑草で車が傷付き登れない状況に、頂上も草だらけで景色が見えない状況になっています。</p> <p>車が上がるくらいの道路整備をして、頂上に登ったり、夕日を見たり出来るようにしたいと思いますが、現在の主な取り組みなどには含まれていないので、他の山も含めて、市として登山道や公園を含めた継続的な整備を検討していただければと思います。</p> <p>せっかくの町の良さが売りにはならないとつくづく思いました。</p>

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

事務局	観光の視点でご指摘いただきましたが、市内には公園と緑地がたくさんある中で、使われていない所も多くある状況です。市として、効果的に予算を投入するため、公園等の見直しについて着手する予定となっています。 観光の観点からも公園、緑地の見直しが必要だと言うご指摘を受けたことを伝えていきたいと思えます。
会長	基盤部門の一つで、工夫をお願いできればと思います。
委員	ワークショップなどで、いつも声の出ている道の駅や島の駅を設置するなどという計画は難しいのでしょうか。
委員	道の駅が出来れば、先ほどのカキなどの販売、特産品売り場がないという問題も解消されます。商工会副会長が道の駅に熱意を持っておられるようですが、特産品などの拠点が1つは必要になり、またそれが観光資源にもなるのではないかと思います。
会長	行政に主導して進めて欲しいというばかりではなく、民間の活力を使う形で道の駅を運営した方が、民間の方が柔軟に対応できるということもあり、成功例が多いように思います。
事務局	総合計画は市の最上位の計画となるため、この計画に基づいて次年度の予算や事業計画を立てていくこととなります。実現の可能性が全く見通せない物を載せるのは、現実的ではないのではと考えております。 しかし、道の駅などの施設を示唆できるものとしては、50頁の下段に「能美海上ロッジ等のあり方検討及び整理に基づく対応」があり、現在の課題でもある能美海上ロッジやシーサイド温泉、サンビーチおきみを含めて今後どうするのかということを検討しています。 まだ、最終的な方向付けが出来ていないため、現状で総合計画に記載できる表現として、こういう取り組みをしていますという形にしているところです。
富田委員	この表現を市民の方が見ても、道の駅などがどうなるのかというイメージができないのではないかと思います。 ワークショップをやっても市民の意見が入らなかったというのでは、参加者は何のために参加したのかと辛くなると思いますので、検討するという方向だけでも見えると良いのかと思います。
事務局	基本計画の後半部分である「未来を切り開くまちづくり」を題材としてワークショップを開催させていただき、意見を頂きました。 今現在、ワークショップで出された意見に対して、基本計画に反映されているのはどこなのか、逆に反映されないならその理由はなんなのかを明確にするよう担当部署にお願いしていますので、それらについてもご報告できればと考えています。
会長	同じ組織内の者からあれこれ言われると嫌がられるところですが、市民から頂いた意見への対応についても、前面に立って調整を行っているということです。
委員	産業・観光とは少し違いますが、空き家でも荒れ放題だったり廃屋だったりする物件への市としての対応はどのようなのでしょうか。
事務局	危険家屋への対策については、台風などで倒壊した場合に道路を塞いだり、子ども等への被害が懸念される場合には、一定程度の補助を行い、危険家屋を除去するという制度があります。しかし、広い土地の中にある家屋が倒れそうな場合などはあくまでも個人資産であり、所有者で処分していただくこととなります。 他市町の事例ですが、土地だけでも田舎に欲しいという方もおられると言うことで、廃屋であっても登録していただき、解体した後の土地を提供しているという自治体もあるということです。江田島市の現状では、住める状態の物件かを確認してから、空き家バンクに登録していただいているところです。
会長	まだ土地だけの登録は行っていないと言うことで、今後、制度を検討して欲しいという審議会の意見として伝えていただければと思います。

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

会長	福祉・保健部門はいかがでしょうか。 いくつか上げると、複合型子育て支援センターのあり方を検討していくということです。また、地域包括ケアに関する意識啓発にも取り組んでいくということです。 食育についても出てきますが、食育の江田島というような特徴があるのでしょうか。 漁をする人たちは生活が不規則で食べ物も偏ることがあるということで、食育のためにも小さいときから取り組むべきだろうという意味合いが持たれているようです。
委員	学校でも、給食に島の物を使って食べるとか、朝食の摂取状況アンケートなども行っているようです。
委員	男の料理とか、老人会の方々による料理ということはしています。
会長	そういったところが、自慢できるブランドではないですが、江田島式の食育などが出てくればと思います。江田島らしさの食育を売りに出来れば一番良いと思います。
委員	民泊では、江田島で昔から伝わってきた食事などを作ったりすることもあります。
会長	他にご意見はないでしょうか。 続いて、生活・環境部門についてはどうでしょうか。 従来通りに事業等を進めていただければ良い内容になっているかと思います。 安全・安心部門については、今までも意見があったかと思います。 ドクターヘリポートの整備、活用についてはどうでしょうか。
事務局	既に数カ所は整備されており、今後については適地があれば新たな設置を検討することになります。
会長	防災などについては、意見はないでしょうか。 続いて、基盤部門になります。 先ほどもありました公園のあり方を含めた公園緑地の整備や、情報基盤の整備などが上がっています。計画的な土地利用も含めて、インフラ整備というほどではないですが、大事な環境整備になるかと思います。 公園緑地の整備に関して、市民参加型の公園管理の推進がありますが、具体的な説明はあるでしょうか。
事務局	住民組織において管理されている公園がいくつかあるので、それらを引き続き行っていただくことと、他にも可能な場所があれば推進していきたいということです。
会長	先ほども出てきましたが、山の環境整備とかそれに伴う道路整備についても視野に入っているのでしょうか。
事務局	現時点での記載内容は、山の環境整備などは視野に入っていないと思いますので、観光などともリンクさせるなど、担当課だけだと業務範囲にとどまるため、他部署の視野で書き方を工夫するなど部局間で連携が取れる形にしていきたいと思います。
会長	「未来を切り開くまちづくり」のプロジェクトで横断的な部分に入れていくと、文章表現も和らいでいくのではないかと思います。
副会長	質問ですが、75頁の難視共聴組合や施設移転というのはどういったものでしょうか。
事務局	テレビの地上波がデジタル化された事により、映らない地域が市内に一部あり、それらに対して補助を行っています。 中国電力の関係で電柱を移転する場合には、テレビ受信用の電線を張り替える必要がありますが、それは組合が負担をする必要がありますが、国策によってデジタル化されたことであるため、必要な部分については行政が財政負担を行うというものです。 陀峯山からの電波が届かない部分が沖地区には比較的多くある状況です。
会長	通常は電波が届かないところの反対側にも電波塔を造るなどすると思いますが、市ではこういう対応を行っているということです。

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

委員	空き家バンクについてですが、市民の方に登録してくださいというようなパンフレットは配布しているのでしょうか。
事務局	広報紙には随時掲載しています。お盆の時期には里帰りしている方も多ことから、担当職員が支所を周り防災無線にて呼びかけを集中的に行っています。 担当課が修学旅行受け入れも担当していることから、年間を通しての空き家バンク登録の呼びかけは出来ていない状況です。 それら以外でも、会合などでの声掛けなどはさせていただいています。
会長	自治会等へも協力をお願いしながら、市民への意識啓発を続けていただきたいと思えます。
委員	空き家バンクがあるのは何年も前から知っていましたが、問い合わせ件数や移住者数は知らなかったもので、成果や成約された家の状況などを含めて知っていただくことが必要かと思えます。
事務局	広報の部分で、もう少し情報提供を頑張りたいと思えます。
会長	続いて地域部門はどうでしょうか。 地域起こし協力隊の導入とありますが、補足をお願いしますか。
事務局	県内でも協力隊を導入している市町はあります。 市の嘱託員という形での採用になりますが、地域活動に携わりたいという方は全国的に見れば多くいると言うことで、総務省の1つの制度になります。 全国で言うと数千人単位で携わった方がおり、多くが都市圏から地方へというパターンとなっています。任期は3年で、その後も7割の方が地域に定着されていると言うことで、若い意欲のある方が住んでいただける、導入しがいのある制度ではないかと考えています。
会長	あちこちで報道されていて既に見聞きしているかと思えますが、これを江田島でも導入していこうと言うことです。 ボランティアではないため、臨時職員と言うことですがプロ意識をしっかりと持ってやっていただけたらと思います。前回は申しましたが、環境デザイナーという形で募集して、江田島をどのように環境を整えるかのデザインを考える、そういった人が入り込んでくると環境整備が違ってくると思います。 大学で地域連携を行っています、若い人が地域起こしに関心を持っています。ボランティアというのは自分の都合で来たり居なくなったりしますので、継続してまちづくりをしていただくにはボランティアは厳しいかと思えます。 新しい試みだろうと思えますので、予算要求の段階で考慮していただきたいと思えます。 第2部の未来を切り開くまちづくりに入りたいと思えます。 今までと違う部分は横断的な施策、事業や審議会で諮られてきた内容が盛り込まれています。各部署から出てきたものを束ねて、1つの固まりにしていく部分かと思えます。
事務局	先ほど、ご指摘いただいた部分が85頁の「3 公園緑地の魅力づくりと有効活用」というところで読み取っていただけたかと思えますが、書きぶりが足りないと言うことであれば、担当部署にもう少し具体的な記述を含めるなどの意見を伝えたいと思えます。
会長	この部分に夢を載せていますので、横断的にやっていただかないと実現できそうもないという部分ですので、皆さんの意見を反映していただけているのではとも思えます。 人手がなくて、山の環境整備が放ったらかしになるのが実情かと思えます。
委員	陀峯山の管理は市が行っているのでしょうか。 頂上には公共施設のような物はあるのでしょうか、アンテナなどはあったように思えますが。

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

事務局	管理は市が行っていますが、登山道に車で入ると傷付くという意見があったように、斜面からの木が生い茂っているという部分はあるかと思います。 頂上のアンテナについては、民間施設となっています。
委員	民泊でも同じような話題があり、山に登っていても途中で上がれないから雑木を何とかして欲しいとは言っていました。
副会長	地元の人が、地元の良さを味わえないので、地元の人が良さを知ってから自慢とかがあるかと思っています。 観光だけでなく、全ての面で江田島が好きだというような中身、自分たちが自慢できる取り組みにならないといけないかと思っています。
事務局	海が見えたとか夕日がきれいだったという、昔のイメージで山に登られると、現状で登れなかったり、眺望がきかなかつたりというところはあるかと思っています。
会長	審議会では何度も議論してきましたが、観光で売り出すためには、環境整備がセットになるという話だと思っています。
委員	環境整備等でいえば、先ほどもあった道の駅は、横断的に考えると楽しめる島、自慢できる島、また来たい島に絡んでくる施設ではないかと思っています。 将来のことなので、出来るか出来ないかは別として、具体的な記述があればと思います。
委員	商工会では、四国の道の駅4施設の視察に行くことになっています。
会長	基本計画の中に、何らかの形で道の駅について取り入れていただきたいと要望をしたいかと思っています。 6次産業化と、起業や新業種参入の促進、えたじまブランドといった取り組みは、国の地方創生の後押しがどうなるかと言うところも絡んでくるかと思いますが、選挙もあり全国的にこの部分は大慌てになるかも知れません。 創業支援の取り組みは色々な市の単位で支援しようと言うことで、近場では広島市が認定を受けており、廿日市も認定を受けるとしています。広島市に創業支援の拠点が整備されようとしていますので、金融機関や自治体、起業のプロが関わる形で起業者を指導していく形で支援していこうというものです。 起業だけでなく、ダメになったときのビジネス転換などといった廃業支援なども出てくるかと思っています。 認定を受けている広島市の体制を活用できるのではないかと思いますので、それなら現実味があるのではと思います。 それでは、観光をキーに、環境整備と道の駅をセットで取り扱っていただけるようお願いしたいと思います。
委員	その他、ご意見等ありませんでしょうか。 良くできた計画ではないかと思いますが、ワークショップの開催やアンケートなど、市民の声を丹念に拾って作っておられるかと思っています。 計画を作るという作業は非常に大事なことで、計画があるから次への一歩が踏み出せる、出発点となります。ここに皆さんの意見が入ることは非常に良いことだと思います。ただ、計画づくりはそこで終わりではなく始まりであり、どう実現していくかと言うことが大事です。良い計画が出来ようとしている段階ですが、あえて言うと環境が変わると計画の中身は全く変わります。わかりやすいのは、原発推進のエネルギー政策で地球温暖化の抑制に貢献するという形の国際公約としていましたが、震災後、国際公約は達成が困難であり、原発自体の再稼働も見通せず、政策自体の見直しも迫られています。計画は作られた時点で陳腐化していく物ですので、絶えず更新しながら見直ししていく、点検していくことが大事だと思います。ですので、PDCAの仕組みを取り込んでいただければと思っています。

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

<p>委員</p>	<p>今後の段階で記載される内容とは思いますが、この計画をどうやって点検し、評価し、実効性を高めていくのかという仕組みを書きいただけたら良いと思います。</p> <p>市民満足度の数値目標を掲げていて、それがどうなったのか毎年チェックされていくものだと思います。きちんとしたものが出来てきているので、できれば審議会や地域でのワークショップを行われたので、それらを活用して地域の皆さんで点検するような仕組みを取り入れていただけたら、将来にわたって有意義な計画になるかと思えます。</p> <p>また、この計画が出発点になりますが、市民の方にわかりやすいということが一番大事かと思えます。資料1-1は全体を網羅された内容が書いてあり、左側は着実に実行され、地域の基礎力を作っていくための内容かと思えます。右側がどうなのかと言うときに、左側との関係性を説明することが重要かと思えます。</p> <p>左側の中から特に必要な物を切り出して、重要だから先に動かしていきたいという意図があるように思えたので、そういった説明がきちんとなされていくと良いように思います。</p> <p>そうすることで全体のストーリーができてきて、人口を増やすために、まず観光面で交流人口を増やし、その中から定住していただける人が出てきて、将来人口に近づけますよと言う流れが見えると思いますので、是非丁寧に説明してあげると非常に良いものになるかと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>確かに、地域の住民がPDCAサイクルを回せるという形、仕組みを盛り込んでいただければと思います。パブリックコメントもその1つかも知れません。</p> <p>全体像の見方、整理の仕方については、文言として入れておいた方が、パブリックコメントを求める際にも良いかもしれません。</p> <p>木村委員の意見にも対応していただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>次のステップで市民の皆さまに説明していく視点の示唆を頂けたと思いますので、対応していきたいと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>これで協議事項（1）の第2次江田島市総合計画素案については終了したいと思います。続いて（2）パブリックコメントについて説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（2）パブリックコメントについて【資料2】 それでは資料2をご覧ください。（「パブリックコメントについて」説明）</p> <p>※内容は資料2のとおり</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>パブリックコメントについて何かありますでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、パブリックコメントの期間中に委員の皆さまからもお声を掛けて頂ければと思います。</p> <p>次に参考資料の絵画コンクールについて説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 その他【参考資料】 それではその他で絵画コンクールについて、参考資料をご覧ください。（「絵画コンクールについて」説明）</p> <p>※内容は参考資料のとおり</p>
<p>会長</p>	<p>私も審議会会長賞を選ばせて頂きました。</p> <p>他の賞も含めて見て頂くとわかりますが、色々な江田島の顔が描かれているなと思います。行事や自然などあります。</p> <p>授賞式の時に全作品を見て感じましたが、江田島の色々な側面が子どもたちの目線から見えていて、江田島の子どもは地元を愛しているのだと伝わる内容であったと思います。</p>

【平成26年11月19日：第2次江田島市総合計画審議会（第8回）要点録】

<p>会長</p>	<p>環境もそうですが、子どもの目線からすると行事やマラソン大会といったものも、ワクワクする思いが、まちづくりなのだと思います。 伝統や文化を絶やすことなく繋げていくことは、子どものためにも、江田島に対する思いを育てていくということにもなるのではないかと思います。</p> <p>最後にスケジュールについて調整したいと思います。 審議会も終わりに近づいてきています、次回の審議会を1月14日（水）に開催したいと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>1月14日は最後の21校目の修学旅行生の離島式が午前中にありますが、午後からは大丈夫だと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>皆さまお忙しい中集まっていただきますが、それでは1月14日（水）の14時からの開催としますのでよろしくお願ひします。 欠席の委員については、事務局から次回の日程について調整していただければと思います。</p> <p>5 閉会 本日はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。</p>